町民が輝き，活力と潤いと魅力あふれる花のまち

広報 わどまり

WADOMARI TOWN PUBLIC RELATIONS

4
Apr.2018
No.357
企画課編集

・平成30年度施政方針
・フォトトピックス：第37回花の島沖えらぶジョギング大会

平成30年度

施政方針

はじめに

平成30年第1回和泊町議会定例会の開会にあたり、本町の基本的な施策である「活力ある産業の振興」「教育文化の振興と心豊かな人づくり」「社会福祉等の充実」「交通基盤等生活環境の整備」に取り組み、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」を実現するため、平成30年度施政方針並びに予算案を提案いたします。

議会をはじめ、町民の皆様の町政に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

国の平成30年度予算案は、「経済・財政再生計画」の最終年度の予算として、「経済再生と財政健全化」を両立する予算として編成されており、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、２０２０年に向けて取り組んでいくこととしております。世界に胎動する「生産性革命」については、これを牽引し、世界に先駆けて実現することを２０２０年度までの最重要課題として位置づけ、その実現に取り組む、また、「人づくり革命」については、長期的な課題であるが、「全世代型」の社会保障制度により、子育てや介護に対する不安なしに誰にでも活躍の場があり、お年寄りも若者も安心して暮らすことができる社会を目指すとしております。

また、財政健全化については、基礎的財政収支の黒字化を目指すという目標を堅持し、同時に債務残高対ＧＤＰ比の安定的な引下げを目指し、歳出改革等を着実に実行するとしております。

一方、地方財政においては、課題として「経済財政運営と改革の基本方針２０１７等への対応」「地方の一般財源総額の確保と地方財政の健全化」「地方行政サービス改革の推進と財政マネジメントの強化」を挙げ、地域の実情に応じ、自主性・主体性を最大限発揮して地方創生等を推進することができるよう、安定的な税財源を確保すること、また、「経済・財政再生計画」を踏まえ、国の取組と基調を合わせて歳出の重点化・効率化に取り組むこととしております。地方交付税等の一般財源総額については、平成29年度地方財政計画の水準を下回らないよう財政措置されており、平成29年度に創設された「公共施設等適正管理推進事業費」については、河川、港湾等の長寿命化事業やユニバーサルデザイン化事業を対象に追加するなど内容を拡充するとともに、移住促進事業などを後押しする「まち・ひと・しごと創生事業費」も前年度並みの予算が計上されているところであります。

他方、経済の見通しについては、海外経済の回復が続くなか、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれ、物価については、景気回復により、需給が引き締まる中で上昇し、デフレ脱却に向け前進が見込まれるとしていますが、先行きのリスクとして、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとしております。

このような動向を踏まえ、本町の平成30年度予算編成にあたっては、第５次総合振興計画や過疎地域自立促進計画の着実な推進と、平成27年度に策定した「わどまり未来予想図プロジェクト」に基づく各種施策を効果的に推進することを重点とした予算配分を行ったところであり、課題となっている財政健全化に向けた取組についても引き続き強く行いながら、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」の実現に努めてまいります。

また、新庁舎建設事業については、防災行政を含めたまちづくりの核となる拠点施設として、その機能が充分活かせるよう年度内の全工事完了に向けて取り組むとともに、今年度は奄美群島振興特別措置法の改正・延長へ向けた重要な年でありますので、群島内各市町村や関係機関と密に連携をとりながら取り組んでまいります。

１　活力ある産業の振興

（１）農業の振興

我が国の農林水産業・農山漁村の現場を取り巻く状況は、農業従事者の減少や高齢化及び耕作放棄地の拡大など、依然として厳しい状況となっています。

このため、国は若者たちが希望を持てる「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創り上げるための「農林水産業・地域の活力創造プラン」を打ち出しており、本町としてもこれらの施策に柔軟に対応し、国が展開している「攻めの農林水産業の実現」に向けた各種事業導入に取り組み、あわせて奄美群島成長戦略ビジョンに基づいた取組を積極的に推進しております。その施策の効果と生産農家の努力が実り、農業総生産額は３年連続の60億円を超えることが見込まれています。

今後も基幹作物であるサトウキビの安定生産、畜産飼養頭数の確保、野菜や花き等園芸作物の品質向上の基本施策の実現のために努めてまいります。

高齢化の加速に伴い、機械化が進んでいるサトウキビ栽培への移行傾向が見られるなかで、担い手の確保と農用地の集約集積さらに畑かん営農に努めます。

また、各集落で策定している「人・農地プラン」を充実させ、糖業・野菜・花き・畜産の複合農業のバランスを保持し若者が安心して就農できる環境の整備を継続してまいります。

このような施策の積極的な推進を行い「温暖な気候を活かした安心・安全な和泊農業の構築」を実現してまいります。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

（2）農業農村整備

農業農村整備事業については、平成30年度も引き続き、国営沖永良部土地改良事業及び国営附帯事業の県営土地改良事業等を中心に、管理計画に基づき各種事業を実施してまいります。

国営沖永良部土地改良事業については、地下ダム本体工事と併せて用水路工事が実施されます。

県営土地改良事業の区画整理は、第二伊美地区と第四畦布地区が引き続き実施されます。畑かん整備については、根折・畦布・手々知名・伊美・朝知野・外俣地区の道路内の配水路と給水栓設置、末端散水施設整備等を実施予定です。また、白瀬地区が新たに採択され測量設計が実施されます。

土地改良施設維持管理適正化事業については、西原上原池のシート補修工事を実施し農業用水の確保に努めます。

農業水利施設保全合理化事業については、第二長畠池・耳付池・筒岩調整池・テーナガシ池のネットフェンスの改修を行い、施設の安全機能回復及び維持管理の省力化を図ります。

多面的機能支払交付金事業については、農地維持・共同活動交付金対象が21組織、資源向上（長寿命化）交付金対象が11組織で、農地・水路等の基礎的な保全管理活動や施設の長寿命化に向けた活動を支援してまいります。

（3）水産業の振興

水産業については、沖縄市場への水産物出荷補助等による効果が表れて島外出荷増が見込まれております。また、水産加工施設も完成し「浜の活力再生プラン」の目標に向けての各種事業の展開を計画しています。

（4）商工・観光・地域経済活性化

商工業については、地域活性化や経済効果が期待されるイベントの実施へ向け、商工会が主体的に取り組んでおり、充実した事業の実現へ向け支援措置を講じてまいります。

また、引き続き町内商工業者の経営の安定向上へ向けた設備投資に係る資金の借入れに対し、利子補給補助金の支援を行うほか、新たな起業育成や企業意欲の高揚を図るため、商工会と共催で実施している創業塾の充実をはかり、創業支援の促進に努めてまいります。

観光では、おきのえらぶ島観光協会が主体となり、観光窓口の一元化や情報発信、物産販売、島の自然・農業・漁業や地域資源を活用した着地型体験観光メニューの創設等を実施しております。

平成30年7月には、沖縄―沖永良部島―徳之島間のアイランドホッピング航空路線が就航予定となっており、沖縄との交流を更に加速化させてまいります。

また、平成30年1月から、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映がスタートしました。西郷隆盛が育んだ「敬天愛人」の思想や功績を後世に継承するとともに、観光振興と併せて地域資源を活用しながら、このチャンスを最大限に活かせるよう、町全体を歴史ミュージアムとして持続可能な観光のまちづくりに取り組んでまいります。

地域経済活性化については、人口減少対策により地方を元気にする「地方創生」に取り組んで3年経過したところですが、人口減少に歯止めがかけられておりません。今後は「わどまり未来予想図プロジェクト」に基づき、町の将来を担う子どもたちや若者を対象とした「人材育成」を中心に、「雇用創出」「交流人口・関係人口の増加」に向けて、社会情勢や国の動向を注視しながら大学、金融機関、各種団体や他自治体と連携して、事業を推進してまいります。

2 教育文化の振興と心豊かな人づくり

教育行政については、近年、少子高齢化、高度情報化社会の進展による教育環境の変化に対応するため、様々な教育改革が行われています。

このような中、平成27年度に設置した「総合教育会議」を軸に、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、教育委員会との更なる連携の強化を図り、和泊町教育振興基本計画に基づき本町教育の一層の振興に努めてまいります。

また、２０２０年度、２０２１年度に順次改訂される小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の内容や方針に鑑み、身に付けるべき資質・能力である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」を総合的、系統的、組織的に育成する教育行政を進めてまいります。

（1）学校教育の充実

学校教育の充実のため、「確かな学力の定着」「豊かな心を育てる教育の充実」「健やかな体を育てる教育の充実」を重点に取り組んでまいります。

確かな学力の定着については、教職員の指導力向上、特別支援教育支援員や複式学級への学習支援員の配置、ＩＣＴ機器の活用、主体的・対話的な学習活動を推進してまいります。また、「島内実力テスト」の実施や小学校3・4年生の外国語活動、小学校5・6年生の英語科実施など一層の小中高連携の推進を図ります。

豊かな心を育てる教育の充実については、「いじめ防止基本方針」に基づき、組織の充実と連携強化を進めるとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの活用による、教育相談体制の拡充にも努めてまいります。また、道徳教育については、小学校では、「特別な教科　道徳」が始まり、本町独自の教育活動である、「郷土で育てる肝心の教育」とあわせて、児童生徒が自己の生き方や他者との関わりを通して行動できる力を身に付けられるよう推進いたします。

健やかな体を育てる教育の充実については、児童生徒の体力向上に努めるとともに、鹿児島国体開催などを見据えた体力・運動能力強化策の推進に努めてまいります。また、学校給食については、地場産食材を活用した安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供し、

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

食育の推進に努めてまいります。

（2）家庭教育の充実

「教育の原点は家庭にある」との理念の下、町ＰＴＡ連絡協議会や子ども会育成連絡協議会と連携しながら「学習意欲の向上」や「家庭学習60・90運動」を推進し、家庭教育の充実に努めます。これまでの取組の成果を生かし、家庭や地域の教育力がより一層充実するよう努めてまいります。

（3）社会教育の充実

社会教育については、「生涯学習の推進」「芸術・文化活動の推進」「生涯スポーツの推進」の充実を重点に取り組んでまいります。

生涯学習の推進については、公民館や図書館などの生涯学習施設における学習内容の充実に努めるとともに、子どもから高齢者まで幅広く利用できるよう、地域における学習の拠点、さらには人づくり・まちづくりの拠点として機能するよう内容の充実を図ってまいります。そのため、ゆりのふるさと基金を活用して老朽化した移動図書館車を更新します。また、子ども会活動等、地域での青少年活動を支援し、「えらぶ世之主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト等の体験・交流活動の機会の拡充を図ってまいります。

芸術・文化活動の推進については、ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」の放映に関連して、西郷南洲翁関連事業会と連携し、西郷南洲翁関連事業等を推進するとともに「えらぶ世之主」没後６００年記念事業の成果に鑑み、郷土の貴重な文化資源の調査・研究を展開しつつ、文化財や伝承芸能を活用した郷土教育の取組を進めてまいります。

生涯スポーツの推進については、町体育協会やスポーツ競技団体を中心としたスポーツ活動等の一層の充実を図りつつ、東京オリンピック・パラリンピックや鹿児島国体の開催を見据えて、町民のスポーツへの関心の高まりや競技者の増加につながるよう努めてまいります。また、町民各層の目的やニーズに応じた競技者育成の組織づくりや体制整備を進めるとともに、町民が生涯にわたりいつでも運動を身近に親しむことができる「元気！わどまりクラブ」等の生涯スポーツの推進も継続・充実してまいります。

3　社会福祉等の充実

（1）健康の増進

町民の健康増進については、和泊町健康増進計画「第３次健康わどまり21」に基づき、疾病の早期発見・早期治療対策として、特定健康診査や各種がん検診及び歯周疾患検診の更なる受診率の向上と、メタボリックシンドロームの予防対策として、「栄養と食生活」「身体活動と運動」「生活習慣病」の３領域について重点的に取り組むほか、母子健康診査や予防接種等の母子保健活動の充実など、町民が健康で安心して生活できる環境づくりを推進してまいります。

国民健康保険事業については、制度改革により安定的な財政運営や効率的な事業の確保を図るため、平成30年度から、県が財政運営の責任主体となる広域化に移行しますが、資格の手続、保険給付、保険税の賦課・徴収や保健事業等の住民に身近な業務については、これまでと同様に引き続き町が担うことから、今後とも医療費の適正化や保健事業の充実に努めてまいります。

後期高齢者医療については、医療費の適正化や被保険者の健康増進対策として、長寿・健康増進事業等の推進をはじめ、被保険者が安心して必要な医療が受けられるよう、鹿児島県後期高齢者医療広域連合と連携して、制度の適切な運営に努めてまいります。

（2）福祉の増進

高齢者福祉については、長寿クラブやシルバー人材センターの会員増加の取組等や事業活動への支援のほか、高齢者が地域で安心して生活が継続できるよう、適切なサービスや制度利用につなげていける支援体制づくりを推進してまいります。

障害者福祉については、和泊町障害者計画、第５期障害福祉計画及び第１期障害児福祉計画に基づき、障害の程度や種類に応じた支援の提供や相談支援等の充実を図るとともに、関係団体や関係機関との密接な連携を図りながら、障がいのある人が社会の一員として、住み慣れた家庭や地域で自立した日常生活を続けていける環境づくりを推進してまいります。

介護保険事業については、高齢者数の増加等により、介護認定者数及び介護保険サービスの総事業費が年々増加傾向にあることから、「和泊町高齢者保健福祉計画及び第７期介護保険事業計画」に基づき、今後とも引き続き、高齢者の健康づくりや介護予防に取り組むとともに、認知症の早期発見、早期予防と認知症についての相談体制の充実に努めてまいります。

（3）児童福祉の充実

子どもは“地域の宝”という認識の下、子ども・保護者に必要な支援を行い「子育てを社会全体で支援していく」子育て環境づくりに努めてまいります。

「和泊町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることを目的として、子ども医療費助成事業のほか、ひとり親家庭、多子世帯等の支援を実施しております。また、認定こども園・保育園における子どもの一時預かり、延長保育及び医療機関における病児・病後児保育の支援を行うなど、保護者が子育てと仕事の両立ができるよう支援するなど、教育・保育・子育て支援の充実を図るための給付や事業を計画的に推進してまいります。

子育て中の保護者の不安軽減を図るための育児相談やファミリーサポートセンター事業の充実、児童虐待防止のための取組、子どもの貧困対策に向けた取組を実施し、多方面の関係機関と連携を図りながら地域の実情に即した支援に努めるほか、２０２０年度から５年間を計画期間とする、「第２期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて取り組んでまいります。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

4 交通基盤等生活環境の整備

（1）交通基盤の整備

交通基盤整備については、「安全で利便性に富んだ道路整備」を目標に、各種交付金事業や起債事業を活用し、通学路への歩道設置や狭あい道路の改良工事、橋梁長寿命化修繕計画に沿った橋梁の改築修繕を推進してまいります。

また、町道、伊延港、内喜名漁港等の維持管理に取り組み、安心・安全な利用ができるよう努めてまいります。

（2）上水道事業

水道事業については、企業会計の更なる経営の健全化を図り、施設の維持管理と老朽管更新事業に取り組むとともに、水質管理を徹底して「安全でおいしい水」の安定供給に努めてまいります。

（3）下水道事業

公共下水道事業については、人口減少や節水型生活用機器の普及に伴い、下水道処理施設への流入量が減少したため、農業集落排水施設和泊中部処理場を公共下水道施設へ統合することとし、平成30年度から管路の埋設事業を開始し、2年後の完了に向けて事業に着手いたします。

また、農業集落排水施設整備事業においても、ライフサイクルコストの低減に努め、東部処理場と北部処理場の耐用年数を超えた機器類の更新事業を継続して行い、平成31年度末の完成を目標に取り組んでまいります。

今後とも引き続き「公共用水域の水質保全と快適な生活環境の確保」のため、合併処理浄化槽整備事業と共に、下水道施設への更なる接続推進を進めてまいります。

（4）住宅整備事業

住宅政策については、「ゆとり・やさしさ・うるおいのある住宅づくり」を目標に、内城B団地の建替事業を進めてまいります。また、地域の活性化や住宅不足を解消するため、空き家活用住宅の整備や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、「和泊町公営住宅長寿命化計画」に基づき、公営住宅ストック総合改善事業により、建物の長寿命化を図るとともに、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んでまいります。

（5）生活環境衛生

快適でより良い住環境保持のため、引き続き徹底したゴミの分別収集と、発生抑制、再利用、再資源化の活動を推進し、循環型社会の形成を目指してゴミの減量化を図り、環境整備と併せて不法投棄防止等の啓発活動を行い、公衆道徳の向上に努めてまいります。

（6）環境にやさしい循環型エコのまちづくり

魅力ある沖永良部島再生を目的に、「緑の再生、花の植栽、生活環境の保全対策」などを推進しているところです。

平成30年度も引き続き、循環型エコのまちづくりを具体化する方策として、先進地調査等を実施する予定にしており、両町連携して地域資源やエネルギーの循環等について、施設導入の可能性調査を行いたいと考えております。今後、奄美群島世界自然遺産登録に向けた取組と併せて、平成28年度に策定された「地球温暖化防止実行計画」に基づき、温暖化対策についても推進してまいります。

（7）安心・安全なまちづくり

町民の安心・安全な生活が確保される地域社会づくりのため、関係機関と協力しながら、近年多様化する様々な犯罪や交通事故、交通違反等の未然防止に努めてまいります。

また、昨年同様、避難所施設と消防活動環境の充実、消防活動の軸をなす車両等の配備を計画しているほか、自主防災組織と消防団員が密に連携を深め、自主的な防災訓練等の実施について充実な活動ができるよう支援し、住民の減災・防災に対するさらなる意識の向上と、地域防災力の充実強化のため、より一層の取組を行ってまいります。

（8）共生・協働のまちづくり

集落やＮＰＯ等各種団体が「自助・共助・公助」の精神で実施する諸施策については、集落を中心とした話合い活動が盛んに行われてきました。このようなことから平成30年度も、あざ・まち元気活動を実施している集落を中心に「あざ・まち元気活動事業」を通して、活動を支援してまいります。

（9）情報化の推進

有線テレビについては、新有線テレビとして開局して10年目を迎える事から、設備の老朽化が著しく、その補修や更新に努めているところです。

また、民間事業者へのテレビ番組の取材・編集・放送の一部委託から加入者管理まで含めた完全委託に向けての準備を進めており、なお一層町民主体で魅力ある番組になるよう支援してまいります。

さらに、様々な分野でのＩＣＴの活用や施策を計画し、地域の課題解決に向けた情報化を推進してまいります。

5 財政事情及び各会計予算

（1）財政事情

近年の本町の財政事情については、国の施策に伴う新たな行政需要等に対応した事業導入に伴い多額の町債を発行した結果、平成28年度末地方債残高約１０２億円に対し、平成29年度末地方債残高見込み額が約98億円となっており、地方債残高が約４億円減少する見込みであります。国の施策や地方財政計画を考慮しつつ、新庁舎建設事業を始め、「和泊町版総合戦略（わどまり未来予想図プロジェクト）」及び「第５次和泊町総合振興計画後期計画」に掲げる施策や計画に基づく各種事業を推進するため、歳出全般にわたる徹底した見直しによる経常経費の削減に努めたところではありますが、昨年度同様に財源不足額が生じたことから、平成30年度当初予算についても庁舎建設基金及び財政調整基金等からの繰入れを伴う予算編成となっております。

今後とも、社会資本等の整備や住民サービスの維持を計画的に進めるため、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を引き続き推進し、持続可能な行財政運営を行う必要があります。

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

（2）一般会計予算

平成30年度一般会計予算の総額は、対前年度比13億1931万3千円（23・7％）増額の68億9730万円となりました。

義務的経費については、人件費2084万6千円及び扶助費2645万5千円の増額、公債費2351万円の減額により対前年度比2379万1千円（0・9％）増額の27億7636万6千円となりました。

投資的経費については、普通建設事業費12億969万9千円の増額及び災害復旧費1283万5千円の増額により対前年度比12億2253万4千円（252・3％）増額の17億702万4千円となりました。

（3）特別会計等予算

特別会計予算の編成に当たっては、一般会計の予算編成方針に準じて編成し、独立採算の原則に立った健全経営に努めることを基本に編成いたしました。

平成30年度和泊町特別会計及び企業会計の予算は、次のとおりとなりました。

（水道事業会計の資本的事業は除く。）

国民健康保険特別会計予算
9億1202万3千円

介護保険特別会計予算
9億521万6千円

後期高齢者医療特別会計予算
8348万5千円

下水道事業特別会計予算
2億6633万1千円

農業集落排水事業特別会計予算
2億971万2千円

奨学資金特別会計予算
1324万2千円

水道事業会計予算（収益的事業）
1億8914万7千円

計
26億3915万6千円

平成30年度町教職員人事異動

教育委員会事務局　92-0009

本町に新しく赴任された先生方

和泊小学校

職名	氏名
教諭	桑原　三千代
〃	東　昭宏
〃	神野　孝作
〃	林　郁美
〃	中山　悠太
養護教諭	岩川　沙緒里
専門員	内山　由佳

大城小学校

職名	氏名
教諭	松﨑　洋樹
〃	東　容子

内城小学校

職名	氏名
教頭	福元　健一郎
教諭	大納　正子
養護教諭	川畑　和代

国頭小学校

職名	氏名
校長	脇田　幸治
教諭	東條　雅恵
〃	米丸　なつみ
〃	重水　崇徳

城ケ丘中学校

職名	氏名
校長	内西　浩子
教諭	山田　卓
〃	北原　聖子

和泊中学校

職名	氏名
校長	上久保　大介
教諭	梶原　景太
〃	久米村　治輝

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

平成30年度町職員人事異動

総務課　84-3511

級		氏　名	新　職　名	旧　職　名
課長級	○	皆吉泰智	企画課長	土木課長
	○	武　吉治	経済課長	経済課長
	○	大吉聰美	保健福祉課参事兼課長補佐	保健福祉課長補佐
	○	泉　隆一	生活環境課長	耕地課長補佐
	○	芋高洋一	議会事務局長	議会事務局次長
	○	林　義仁	税務課長	土木課長補佐
	○	先山照子	農業委員会事務局長	農業委員会事務局次長
		南　俊美	保健福祉課長	総務課参事兼課長補佐
		東　敏仁	町民支援課長	農業委員会事務局長
		和田清良	土木課長	生活環境課長
課長補佐級	○	永山真奈美	国頭こども園主任保育士	国頭こども園保育士
	○	東　輝男	議会事務局次長	税務課係長
	○	竹下泰弘	税務課長補佐	総務課係長
	○	先田資秀	教育委員会事務局次長	教育委員会事務局係長
	○	有馬清武	総務課長補佐	企画課係長
	○	西村雄次	農業委員会事務局次長	経済課係長
		宮原芳實	土木課長補佐	税務課長補佐
		玉野憲治	耕地課長補佐	教育委員会事務局次長
		大吉憲仁	経済課長補佐	町立学校給食センター事務長
		福永君子	大城こども園主任保育士	国頭こども園主任保育士
		長尾太志	町立学校給食センター事務長	生活環境課長補佐
		長田留美子	和泊幼稚園教諭	大城こども園主任保育士
係長級	○	大山さおり	教育委員会事務局係長	教育委員会事務局主査
	○	重信英樹	経済課係長	経済課主査
	○	永野敏樹	総務課係長	総務課主査
	○	東　梢	保健福祉課係長	保健福祉課主査
	○	和田貴子	企画課係長	町民支援課主査
	○	弘野美咲	総務課係長	総務課主査
	○	芋高智美	経済課係長	経済課主査
	○	平山烈士	土木課係長	土木課主査
	○	花輪富八郎	教育委員会事務局係長	教育委員会事務局主査
	○	速水良太郎	総務課係長	総務課主査
	○	宮内吉樹	生活環境課係長	生活環境課主査
	○	北野堪重郎	教育委員会事務局係長	教育委員会事務局主査
	○	名越直樹	土木課係長	大島支庁沖永良部事務所（割愛）
		三島和乃	大城こども園保育士	内城こども園保育士
		和　直美	内城こども園保育士	大城こども園保育士
		通村祐明	生活環境課係長	町民支援課係長
		町田　学	町民支援課係長	保健福祉課係長

係長級		和　秀明	税務課係長	土木課係長
		名越晴樹	教育委員会事務局係長	企画課係長
３級主査級	○	清水　誠	保健福祉課主査	保健福祉課主査
	○	田代勇太	総務課主査	総務課主査
	○	安田　拓	企画課主査	企画課主査
	○	玉利純平	経済課主査	経済課主査
		外山栄美	国頭こども園保育士	和泊幼稚園教諭
		名越美希	町民支援課主査	税務課主査
２級主査級	○	前田啓至	総務課主査（鹿児島県町村会研修）	総務課主事（鹿児島県町村会研修）
	○	吉成　大	企画課主査	経済課主事
		菅村文雄	企画課主査	沖縄県企画部地域・離島課
主事級		大福　薫	企画課主事	経済課主事
		大江祐輔	税務課主事	経済課主事
派遣・研修	○	沖　静花	奄美群島広域事務組合	企画課主事
新規採用		末川　航	教育員会事務局主事	
		喜井泰貴	経済課主事	
		沖野健人	保健福祉課主事	
		田仲啓泰	耕地課主事	
		村山早奈恵	大城こども園栄養士	
		今井秀代	国頭こども園保育士	
		沖野有希	和泊幼稚園教諭	
		沖田梨穂	内城こども園保育士	
退職		田原義仁		議会事務局長
		川畑裕一		企画課長
		東　茂久		税務課長
		高田清藏		町民支援課長
		瀬川光雄		保健福祉課長
		山田充雄		土木課参事兼空港管理事務所長
		川上富洋		耕地課係長
		外山由紀子		国頭こども園保育士
		中野　譲		内城こども園保育士
	○	三島才輝	大島支庁沖永良部事務所（割愛）	耕地課主事

○は昇格

「と畜場の利用について」

沖永良部衛生管理組合　92-2042

沖永良部と畜場は毎週開場しています。
と畜場でとさつ，解体されたお肉は保健所の検査を済ませた安心・安全な食肉です。また，と畜場以外でのとさつは法律で禁止されております。山羊や豚のとさつ，解体はと畜場を利用しましょう。　詳しくは沖永良部衛生管理組合　電話番号 92-2042

罰則規定
「と畜場以外の場所で家畜（山羊，豚等）をとさつ，解体した場合は３年以下の懲役又は300 万円以下の罰金」

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

第37回花の島沖えらぶジョギング大会

３月11日（日），笠石海浜公園を発着点に第37回花の島沖えらぶジョギング大会が開催されました。ランニング日和に恵まれ，2,332名（歴代参加者数2位）のランナーは春の日差しのもと完走を目指しました。

ウェルカムパーティー

第 38 回フラワーフェスティバル

３月 11 日(日), ジョギング大会終了後, 和泊中学校体育館において第 38 回フラワーフェスティバルが盛大に開催されました。

今回で観光大使の任期を終了した今榮歌菜子さん，宗岡理奈さんから新観光大使の谷山ちひろさん，平山由佳理さんへバトンが引き継がれました。

このほかに，各団体の演芸披露やバンシローズによるバンド演奏や，元 THEBOOM のボーカル宮沢和史さんのライブが行われました。

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

平成30年度の国民健康保険税の税率が改正されます

税務課　84-3515

国民健康保険の財政運営が都道府県単位になる国保広域化が平成３０年度より始まります。広域化により，今後，賦課方式も４方式（所得割・資産割・均等割・平等割）から３方式（所得割・均等割・平等割）へと統一されます。

こうした状況を踏まえ，平成３０年度の国民健康保険税の税率を下表のように改正いたします。ご加入の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

国民健康保険税率の改定内容

区　　分	算定区分	平成 29 年度まで	平成 30 年度	比　較
医療給付費分	所得割	6.90%	7.00%	0.1 増
	資産割	4.00%	2.00%	2.00 減
	均等割	19,000 円	据置き	0
	平等割	18,000 円	据置き	0
後期高齢者支援金分	所得割	2.10%	2.30%	0.2 増
	資産割	11.00%	5.50%	5.5 減
	均等割	8,000 円	8,500 円	500 円 増
	平等割	7,100 円	7,500 円	400 円 増
介護納付金分（40歳から64歳まで）	所得割	1.35%	1.50%	0.15 増
	資産割	4.40%	2.20%	2.2 減
	均等割	7,500 円	8,000 円	500 円 増
	平等割	5,000 円	5,500 円	500 円 増

【国保税の算出】

１　所得割：（前年中の世帯の合計所得額－３３万円）×所得割税率

２　資産割：当該年度の固定資産税額×資産割税率

３　均等割額：世帯内の国保加入者数×均等割額

４　平等割額：１世帯につき平等割額

上記，１～４の区分ごとに算出された税額の合計額が当該年度の国民健康保険税額となります。なお，世帯の合計所得額に応じて，均等割及び平等割の７割，５割，２割が軽減されます。

伊延港の愛称決定について

土木課　84-3520

【愛称】

西郷南洲伊延港

広報わどまり新年号でお伝えしました伊延港の愛称について，町内外から 88 点のご応募をいただき，選定委員会を経て伊地知実利町長が決定しました。

西郷隆盛上陸の地として，今後益々の知名度向上を図り，島おこしにつなげたいと思います。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

故伊勢達一氏叙位伝達式

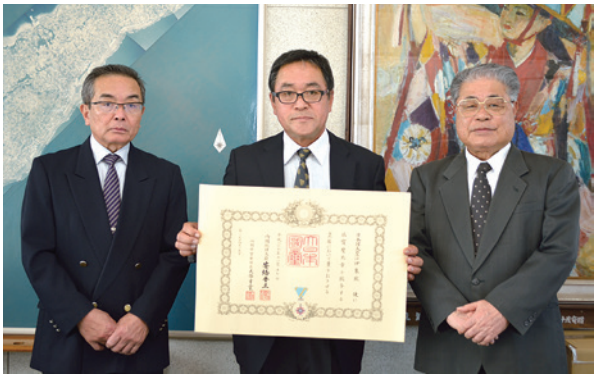
３月 13 日（火），町長室において，故伊勢達一氏が叙位（従六位）を受章されました。

伊勢氏は，長きにわたり本県の教育一途に誠心誠意尽くし，退職後は和泊町教育委員会文化財保護審議会委員や社会教育指導員を務めました。教育の充実・振興に貢献したことから平成 23 年９月に瑞宝双光章の叙勲を受章されております。

故伊集院健氏叙勲伝達式

２月 19 日（月），町長室において，故伊集院健氏への瑞宝双光章伝達式が行われました。

伊集院氏は，昭和 26 年４月に和泊町役場に入庁し，35 年の長きにわたり町民の福祉向上に貢献しました。また，役場職員として培った経験を活かし昭和 61 年４月から平成８年９月まで本町助役を務め，農業基盤の整備や教育の振興等，町勢の発展に貢献しました。



春の交通安全運動出発式

春の交通安全運動

スローガン：

横断は　しっかりよく見て　たしかめて

重点運動

① 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

② 自転車の安全利用の推進

～「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」の理解促進～

③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

④ 飲酒運転の根絶

４月６日（金）防災拠点施設やすらぎ館において，春の交通安全運動出発式が行われました。

当日は，あいにくの雨模様のため，啓発パレードは行われませんでしたが，和泊小学校に入学したばかりの児童による交通安全宣言が行われました

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

元気！わどまりクラブ通信

３月 21 日 (水) クラブ CUP 杯フットサル大会が知名町民体育館にて行われ、９チーム７０名が参加しました。

９チーム中４チームは中高校生のチームでしたが、普段から練習しているということもあり、大人顔負けのハイレベルな戦いでした。優勝は見事に『平成２・３年生』チームが勝ち取り、今回スポンサーが多くついていただきましたので、優勝できなかったチームも沢山の景品をいただき、大満足な大会となりました。

平成３０年度の元気！わどまりクラブ会員募集のお知らせです。元気！わどまりクラブでは幼児の運動教室を始め、ミニバレー、バドミントン、ダンス、サッカー、太極拳、自力整体、わらんちゃ (小学生対象の運動教室) など様々な教室やサークルがあります。会員希望の方は教育委員会事務局 (中央公民館内) までお申し込みください。

また、今年度から、タラソジムの運営が元気！わどまりクラブからタラソおきのえらぶへ変わりました。ジム会員ご希望の方はタラソおきのえらぶへお申し込みください。

年　会　費		和泊町内在住	和泊町外在住者
個　人　会　員	0歳～高校生 65歳以上及び障害者	3,000円	5,000円
	一般〈上記以外〉	5,000円	8,000円
家　族　会　員	ファミリー会員 (同一世代に限る)	10,000円	15,000円
スポーツ保険 (希望者のみ)	中学生以下(スポ少は無料)	800円	
	高校生以上～64歳未満	1,850円	
	65歳以上	1,200円	

チャレンジデー対戦相手決定！

和泊町VS八峰町(秋田県)

5月30日(水)　午前0時～午後9時　詳細は、文字放送をご覧ください。

元気！わどまりクラブ　TEL：92-0300（教育委員会事務局内）
FACEBOOKページ　https://www.facebook.com/genkiwadomari

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

図書館だより

和泊町立図書館
TEL：92-3033
FAX：92-0773

○休館日は月曜日と一部祝日、そして整理休館日（毎月最終週の木曜日に実施）です。ご理解とご協力をお願いいたします。
詳しくは，町立図書館のホームページでご確認ください。
○4月から開館時間が午前10時～午後６時30分に変わります。

〈新着本紹介〉

一般書	
書　名	著　者
教育小六法　平成 30 年度版	市川　須美子
敗者の明治維新	洋泉社
その調理,9 割の栄養捨ててます!	東京慈恵会医科大学 付属病院栄養部
騙し絵の牙	塩田　武士
AX	伊坂　幸太郎

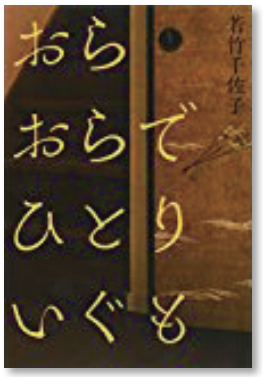
じどうしょ	
ほんのなまえ	かいたひと
犬がおうちにやってきた！	井原　亮
できるよ！せいかつ３６６	宮里　暁美
キキとジジ	角野　栄子
少年探偵響１～３巻	秋木　真
いってらっしゃいいってきまーす	神沢　利子

※この他にもたくさん入荷してますのでぜひ図書館にご来館ください。

〈寄贈本〉

氏　名	書　名
前田　由莉子	オレンジページ　他 22 冊
吉成　大	ものがたり風土記　他 58 冊

おすすめ！



「おらおらでひとりいぐも」
若竹　千佐子：著
第 158 回芥川賞受賞作

主人公桃子は 74 歳。夫と死別し子どもとも疎遠だが，自らの内面から湧き上がる「大勢の声」を聞き，時にその声らと議論しながら日々を生きる。老いることから逃げず，“おらはおらに従う”主人公の姿に，歳をとるのも悪くないと思える。玄冬小説の傑作。

健康の窓

保健センター
ＴＥＬ：84-3526
ＦＡＸ：81-4040

がん検診を受けましょう！

がんは，和泊町の死亡原因の第１位です！！
下記の日程でがん検診が行われます。1年に1回は検診を受けて，異常の早期発見，早期治療に努めましょう☆

☆肺がん・結核検診☆

日程：平成 30 年６月３日（日）～平成 30 年６月 12 日（火）
場所：各字公民館，保健センター
※４月の区長会で受診票等を配布します。

☆子宮頸がん・乳がん検診☆

日程：平成 30 年６月 19 日（火）～平成 30 年６月 24 日（日）
場所：国頭研修会館，玉城字公民館，内城字公民館，
保健センター（予定）
※５月の区長会で受診票等を配布します。

その他

○詳しい日時，場所，対象者，料金等は，受診票に記載されていますので，御確認ください。
○御不明な点は保健センターまでお問い合わせください。

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。
ダウンロードはこちらから→

まちづくり協力隊からのあぐだより

Vol. 21　2月18日（日）根折字の古民家お披露目会！

根折字青年団が中心となり，あざまち元気活動の補助金を活用して，空家となっていた古民家を改修しました。

お披露目会では，根折字青年団によるやっこ踊りも披露され会場を湧かせました。

TVの取材を受ける家主さんは，長年空家となって荒れ果てていた実家に心を痛めていましたが，新しく生まれ変わった姿に感激し，言葉に詰まり涙を流す場面もありました。そんな光景を見た時に，このプロジェクトに関わって本当に良かったなと思えた瞬間でした。

今後，この多目的空間をどのように活用して，字の活性化に繋げていくのか？

このプロジェクトに関わる方々の想いやアイディアを形にして，誰もが自由に楽しく憩える場になるよう全力でサポートしていきます。 皆さんも是非遊びに来てください！

和泊町役場企画課　和泊町まちづくり協力隊　TEL：84－3512
まちづくり協力隊活動ブログ
http://www.wadomari.com/

Information!

工業統計調査を実施します

○工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に6月1日時点で実施します。

○工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

○調査の結果は、中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。

○調査票に御記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。

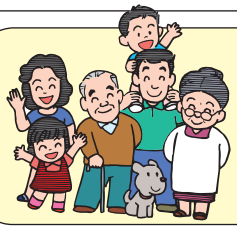
○調査の趣旨・必要性をご理解いただき、御回答をよろしくお願いいたします。

経済産業省・都道府県・市区町村

天体観望会が行われます！

日　時：5月24日(木)・25日(金)
場　所：和泊小学校
問合せ：和泊小学校　電話92－0004
内　容：①春の星座をさがそう
②木星を見よう
③金星を見よう

マチイロ　広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→



戸籍の窓

2月1日～3月31日までの届けのうち，掲載依頼のあった届けのみを掲載しております。（敬称略）

町の人口
4月1日現在
（ ）は前月比

総人口	6,457人	（－ 147）
男	3,204人	（－ 79）
女	3,253人	（－ 68）
世帯数	3,201戸	（－ 62）

あかるくすこやかに

子の名	性別	保護者	住所
宮内（みやうち） 結心（ゆあ）	女	吉樹 絵里香	和泊
牧島（まきしま） 彩笑（さえ）	女	弘幸 由利香	手々知名
西（にし） 結愛（あのん）	女	利樹 いずみ	内城
山田（やまだ） 凌雅（りょうが）	男	哲仁 友美	手々知名
高（たか） 健人（けんと）	男	孝一 安奈	和泊
有林（ありばやし） 美羽（みう）	女	翼 友美	根折

副町長再任のあいさつ

３月議会において，副町長に再任されました。微力ではありますが伊地知町長の補佐役として，全力で町民の福祉向上に努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

おくやみ

生前のご貢献に感謝を捧げるとともに，ご冥福をお祈りします。

月日	故人	歳	住所
1/28	原　前利	93	仁志
1/31	東　久徳	86	和泊
2/2	新田　吉男	80	国頭
2/10	榮　勝司	59	内城
2/11	有馬　シヅヱ	92	玉城
2/14	田中　早苗	93	古里
2/16	林　晴美	79	国頭
2/23	和田　順榮	86	喜美留
3/3	山元　オト	90	仁志
3/7	榮　森秀	88	内城
3/19	川島　司	70	国頭

香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
新田　笑子	吉男	夫	国頭
榮　末盛	勝司	子	内城
宮内　てるえ	吉盛	夫	千葉県
武田　幸	照義	子	手々知名
田中　テル子	早苗	夫	古里
菅村　芳郎	龍	子	和泊
和田　ノリ子	順栄	夫	喜美留
原　寿代	前利	父	仁志
田中　ミチ子	中田　エイ	姉	手々知名
榮　アキ	森秀	夫	内城
沖　ウメ	利信	義弟	仁志
福永　サエ子	山本　オト	姉	仁志
川島　いさえ	司	夫	国頭
宮内　昭成	川間　タケ	義姉	和泊
伊集院　幸子	健	夫	大城

マチイロ 広報わどまりはマチイロでもご覧になれます。ダウンロードはこちらから→

祝入学おめでとう!!

和泊小学校

和泊小学校

大城小学校

国頭小学校

内城小学校

城ケ丘中学校

和泊中学校

和泊中学校

広報わどまり No.357 2018.4

■発行／和泊町役場 〒891-9192 鹿児島県和泊町和泊10番地
■TEL：0997（92）1111 FAX：0997（92）3351
■ホームページ：http://www.town.wadomari.lg.jp
■Eメールアドレス：sstv@town.wadomari.lg.jp